

「40という数字の意味(2)」
—出エジプトから王国成立前まで—

はじめに

- (1) ハーベスト・タイム 40周年記念メッセージシリーズ
- (2) シリーズ全体の基本命題
 - ①「40」は、神が民を試し、整え、使命へと送り出すために定められた期間。
 - ②それは裁きを含むことがあるが、最終目的は回復と前進にある。
- (3) 1回目のメッセージ(創世記から出エジプト記まで)
 - ①ノアの洪水の期間
 - ②イサク40歳で結婚
 - ③モーセの三つの40年
- (4) 2回目のメッセージ(出エジプト記から王国成立前まで)
 - ①荒野の40年
 - ②シナイ山での40日40夜
 - ③士師時代の40年
 - ④ゴリアテの40日

命題:「40」は偶然の数字ではなく、神がご自身の目的のために用意されたものである。
そのことを4つの事例から学んでみよう。

I. 荒野の40年

1. 聖句(民14:33~34)

Num 14:33 おまえたちの子どもは、この荒野で四十年の間羊を飼う者となり、おまえたちがみな、屍となるまで、おまえたちの背信の責めを負わなければならない。

Num 14:34 おまえたちが、あの地を偵察した日数は四十日であった。その一日を一年と数えて、四十年の間おまえたちは自分の咎を負わなければならない。こうして、わたしへの反抗が何であるかを思い知ることになる。

2. 文脈

(1) エジプト脱出からシナイ山まで

- ①イスラエルは、過越の出来事によってエジプトを出た(出12章)。
- ②紅海を渡った(出14章)。
- ③シナイ山で律法を受けた(出19~24章)。
- ④幕屋が完成した(出25~40章)。
- ⑤シナイ山を出発した(民10章)

(2) シナイ山からカデシュ・バルネアまで11日(申1:2)

- ①12部族から1人ずつ斥候が派遣された(民13章)。
- ②40日間の偵察の後、ヨシュアとカレブは積極的な報告をもたらした。
- ③残り10人は「住民は強大で勝てない」と報告した。
- ④民は10人の否定的報告を信じ、神に反抗した。
 - * エジプトに帰ろうとした。
 - * モーセに反逆した。
 - * 神の約束を信じなかった。
- ⑤斥候が40日間偵察したことに対応して、40年間の放浪が定められた。

3. 荒野の40年間の目的

(1) 不信仰に対する神の裁きの期間

- ①出エジプトを経験した世代は、ヨシュアとカレブを除いて死に絶えた。
- ②不信仰には、重大な結果が伴う。

(2) 古い世代から新しい世代への移行期間

- ①ヨシュアとカレブを中心とする新しい世代が約束の地に入る。

(3) 神に依存することを学ぶ訓練期間

- ①荒野では、人間的な資源ではなく、神に依存しなければ生きられない。

(4) 神の恵みと真実を経験する期間

- ①「この四十年の間、あなたの衣服はすり切れず、あなたの足は腫れなかった」(申8:4)
- ②失敗によって神の計画が終わるのではなく、神は失敗さえも用いて次の世代を準備される。

II. シナイ山での40日40夜

1. シナイ山での「40日40夜」は、くり返し出てくる。

(1) 出24:18

Exo 24:18 モーセは雲の中に入って行き、山に登った。そして、モーセは四十日四十夜、山にいた。

- ①十戒が書かれた石の板と幕屋の啓示を受ける。

(2) 申9:18、25

- ①金の子牛の罪のために執りなす。

(3) 出 34 : 28、申 10 : 10

- ①新しい石の板を受ける。

2. 「40日40夜」の意味

(1) 神の臨在の中にとどまる期間(出 24 : 18、34 : 28)

- ①日常生活から切り離され、神だけに集中する期間である。

(2) 神のことばを受ける期間

- ①律法、幕屋、祭司制度など、イスラエル国家の基礎が示された。
- ②指導者が使命を果たす前に神から教えられる期間であった。

(3) 民の罪が明らかになる試しの期間

- ①民にとっては待つことを要求される試しの期間であった。
- ②山の下では、人間が神を可視化しようとして金の子牛を作っていた。

(4) 執りなしと契約更新の期間

- ①モーセは罪を犯した民のために断食しながら祈った(申 9 : 18)。
- ②啓示 → 罪の露呈 → 執りなし → 契約の回復

3. 「40」という数字の意味は、後の時代に引き継がれる。

(1) エリヤの40日40夜(1列 19 : 8)

- ①ベエル・シェバからホレブまで歩いた。

(2) イエスの40日40夜(マタ 4 : 2)。

- ①荒野で悪魔の試みを受けた。

III. 士師時代の40年

1. 聖句

(1) 士 3 : 11 (オテニエルの時代の40年)

Jdg 3:11 国は四十年の間、穏やかであった。こうして、ケナズの子オテニエルは死んだ。

(2) 士 5 : 31 (デボラの時代の40年)

Jdg 5:31 このように、【主】よ、あなたの敵がみな滅び、／主を愛する者が、／力強く昇る太陽のようになりますように。」／こうして、国は四十年の間、穏やかであった。

2. 士師記における 40 年の意味

(1) 40 年という期間が、一世代に及ぶ長い平安の期間として描かれている。

- ①荒野の放浪：40 年
- ②ダビデの統治：40 年
- ③ソロモンの統治：40 年

(2) 「40 年穏やかであった」 = 「その世代の間、神が平安を与えられた」

- ①これは、永続的な平和ではない。
 - * 40 = 神から与えられた機会
- ②40 年の平和の後に再び民は墮落する。
- ③士師記のテーマは「人間の指導者による救いは一時的」ということ。
- ④最終的に必要なのは、完全な王であるメシアである。

IV. ゴリアテの 40 日

1. 聖句 (1 サム 17 : 16)

1Sa 17:16 例のペリシテ人は、四十日間、朝早くと夕暮れに出て来て立ち構えた。

2. 「40 日間」の意味

(1) イスラエルの信仰が試された期間

- ①ゴリアテは 40 日間にわたってイスラエル軍を挑発し続けた。
- ②朝と夕方に現れる。
- ③神の民を辱める。
- ④誰も立ち向かわない。

(2) 人間的な王サウル王の限界が明らかになる期間

- ①本来ならば、王であるサウルが出て行くべきであった。
- ②しかしサウルは、民と同じように恐れていた。
- ③40 日間は、サウルの霊的破綻が明らかになる期間でもあった。

(3) ダビデ登場の舞台を準備する期間

- ①サウルは 40 日間何もできなかった。
- ②しかし神はすでに新しい王を備えておられた。
- ③沈黙しているように見える期間にも、神は次の働きを準備しておられる。

(4) 恐れに支配された状態から、信仰による勝利へ移行する期間

- ①イスラエルは恐れている。
- ②誰も敵に勝てない。
- ③一人の代表者が出て行く。
- ④「この戦いは【主】の戦いだ」(17:47)
- ⑤ここに 40 日の結論がある。

結論：今日の信者への適用

1. 40 の期間の後に神の新しい段階が始まる。
 - (1) 荒野の 40 年の後には約束の地への入国があった。
 - (2) シナイ山の 40 日 40 夜の後には、神のことばと使命が与えられた。
 - (3) 士師時代の 40 年の後には、次の世代が神への応答を迫られた。
 - (4) ゴリアテの 40 日の後には、神が備えておられたダビデが登場した。
2. 「40」は終着点ではなく、新しい始まりへの準備期間である。
 - (1) 私たちも人生の中で、「40」に相当する時期を経験する。
 - ①病との闘いの期間
 - ②祈り続けているのに答えが見えない期間
 - ③奉仕の実が見えない期間
 - ④神が沈黙しておられるように感じる期間
 - (2) 私たちの人生の「40」もまた、神の御手の中にある。
3. 「40」は、神がご自身の民を整え、次の段階へ送り出すための恵みの数字である。
 - (1) 今置かれている場所で主に従い続けようではないか。
 - (2) 申 2:7

Deu 2:7 事実、あなたの神、【主】はあなたのしたすべてのことを祝福し、この広大な荒野でのあなたの旅を見守っていたのだ。この四十年の間、あなたの神、【主】はあなたとともにいて、あなたには何一つ欠けたものがなかった。」

聖書に出てくる「40」のすべてに同じ象徴的意味があると断定することはできない。しかし、重要な転換点に 40 という期間が繰り返し現れ、試練、訓練、準備、そして新しい段階への移行と結びついていることは注目に値する。